

高千穂交易、エージェント型 AI 時代の新たなリスクに対応する 非人間アイデンティティ (NHI) セキュリティ基盤「Token Security」を販売開始

高千穂交易株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：井出尊信、証券コード：2676、以下「当社」）は、AI エージェントおよび非人間アイデンティティ（Non-Human Identity：NHI）に特化したセキュリティプラットフォームを提供する Token Security 社と、日本国内初のディストリビューター契約を締結したことを発表いたします。

本契約により、企業が AI 活用 を止めることなく、セキュアかつ統制の取れた AI 導入を実現するための基盤整備を支援するとともに、エージェント型 AI の本格的な業務活用が進む中で顕在化する新たなリスクに対し、最先端の対応を実現します。

【背景：エージェント型 AI の普及と新たなセキュリティ課題】

生成 AI およびエージェント型 AI の急速な普及により、企業システム内では人間ではない主体（非人間アイデンティティ：NHI）が爆発的に増加しています。AI エージェント、ボット、API トークン、サービスアカウントなどは業務効率を高める一方、従来の IAM（Identity and Access Management）では可視化・制御・監査が困難な新たなリスクを生み出しています。多くの組織では以下のような課題が顕在化しています。

- AI エージェントが誰の代理として、何にアクセスし、何を実行しているのか把握できない
- 過剰な権限を持つ API トークンやサービスアカウントの放置されている
- AI による自律的なアクションに対する監査証跡や説明責任が確保できていない
- GDPR、EU AI Act などデータやシステム利用の透明性・監査対応を求める規制・監査要件への対応困難

エージェント型 AI 時代において、「すべての AI エージェントにアイデンティティを与えること」は、もはや選択肢ではなく、必須要件です。

当社は、こうした変化を一過性の技術トレンドではなく、企業のセキュリティ戦略そのものを再設計すべき重要な転換点と捉え、エージェント型 AI を前提としたセキュリティ対応の強化に取り組んでいます。

【Token Security について】

Token Security（本社：イスラエル・テルアビブ／米国ニューヨーク）は、クラウド、SaaS、API、AI エージェントなどにおける非人間 ID（Non-Human Identity：NHI）の可視化・管理・保護に特化したセキュリティプラットフォームを提供する企業です。アプリケーションやサービスアカウント、API キー、AI エージェントなど、人以外の主体が利用する ID のライフサイクル全体を対象に、利用状況の把握、権限の最適化、リスクの検出と統制を支援します。近年急速に拡大する NHI を狙ったセキュリティリスクに対し、Token は NHI セキュリティに特化したアプローチを採用し、企業が安全かつ柔軟にクラウドや AI 技術を活用できる環境づくりを支援しています。



【Token Security の主な特徴】

エージェント AI が「助言する存在」から「行動する存在」へ進化する中で、Token Security は以下を実現します。

- **非人間アイデンティティ (NHI) の可視化と一元管理**

AI エージェント、Copilot、API トークン、サービスアカウントを自動検出し、「誰が作成し、何の目的で、どこにアクセスしているか」を一元的に把握。

- **AI エージェント向けアイデンティティとアクセス制御**

AI エージェントを人間ユーザーと同様に、ロール・スコープ・時間制限付きで管理。過剰特権やなりすまし、権限エスカレーションを防止。

- **監査可能なアクションログと説明責任の確保**

AI が実行したすべてのアクションを記録し、「いつ・誰の代理で・何を行ったか」を追跡可能に。

- **エージェント AI 時代のガバナンス対応**

GDPR、SOX、EU AI Act、NIST RMF など、AI 時代の規制・監査要件に対応した可観測性と統制基盤を提供。

- **既存 IAM・クラウド・AI 基盤との統合**

クラウド、SaaS、CI/CD、MCP (Model Context Protocol) 環境と連携し、AI 導入フェーズ (実験～自律運用) 全体をカバー。

これにより、AI 導入のスピードを落とすことなく、ガバナンス・セキュリティ・コンプライアンスを同時に強化します。



【今後の展開】

当社は、エージェント AI の導入を積極的に推進する IT・SaaS 企業をはじめ、製造業、金融・保険業、小売・EC 業界など、非人間 ID (NHI) の管理が重要となる幅広い業種に向けて、企業が AI 活用を止めることなく、セキュアかつ統制の取れた AI 導入を実現するための基盤整備を支援してまいります。2030 年度までに 50 社 375,000 ライセンス数の導入を目指します。なお、本ソリューションは 2026 年 4 月 8 日 (水) ~ 10 日 (金)、東京ビッグサイトにて開催される「情報セキュリティ Expo (主催: RX Japan 株式会社)」の 高千穂交易ブースにて詳しい解説を交えてご紹介いたします。

【イベント情報の詳細】

URL : <https://www.takachiho-kk.co.jp/event/itweek2026spring/>

【製品に関するお問い合わせ先】

<https://www.takachiho-kk.co.jp/contact/network/>

高千穂交易株式会社について（Web サイト：<https://corp.takachiho-kk.co.jp/>）

高千穂交易は、1952 年創業の独立系技術商社です。クラウドサービス、商品監視や入退室管理などのシステム、サイバーセキュリティ、半導体・機構部品などのデバイスを取り扱い、コンサルティングから開発・設計、設置、保守サービスまでをワンストップで提供しています。

【お問い合わせ先（報道機関窓口）】

高千穂交易株式会社 経営企画室 鶴保・椿 TEL:03-3355-1201 / E-mail : pr@takachiho-kk.co.jp

〒160-0004 東京都新宿区四谷 1-6-1 YOTSUYA TOWER 7 階